

平成30年度 授業改善推進プラン全体計画

小平市立小平第九小学校

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 小学校学習指導要領
- 東京都教育目標
- 小平市教育目標
- 小平市教育振興基本計画

【学校教育目標】
 人間尊重・生命尊厳の精神を基調とし、心身ともに健康で人間性豊かな児童を育成する。
 ○よく考えすすんで学ぶ子
 ○助け合うやさしい子
 ○心も体もたくましい子

- 学校や地域の実態
- 児童の実態
- 地域社会・保護者の願い
- 教師の願い
- 時代や社会の要請

【学力向上に関わる学校経営方針】
 ○「よく考えすすんで学ぶ子」の育成を目指し、各教科の基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、自ら学習課題をつかみ、最後までねばり強く解決しようとする学習態度を育成する。
 ○読書活動、一時間の授業内容、一日の学校生活等を振り返り、伝える活動を工夫し表現力を育てる。

<p>【各教科の指導の重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な知識・技能の定着・伝える活動の工夫 ・東京ベーシックドリルの活用 ○学習規律の徹底 ・九小スタンダード ○朝読書 読書マラソン ○思考力を高める（算数科を中心に） 	<p>【道徳教育の指導の重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手の立場を考え、思いやる心の育成 ○道徳的実践力の育成 ○教科用図書（道徳）や東京都道徳教育教材集の活用 ○「道徳授業地区公開講座」を実施 ・家庭や地域との連携による豊かな心の育成 	<p>【特別活動の指導の重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○望ましい集団活動を通して協力する態度を育む ○話し合い活動の充実 ○児童集会、たてわり班活動等の工夫・改善 ○集会委員会、たてわり活動的集会の実施 ・異学年交流を通して、他を思いやる心や社会性を育む 	<p>【生活指導の重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ運動の実施 ○基本的な生活習慣の確立 ○規範意識の育成 ○いじめ防止への取組～自己を大切にすることを育てる～ ○安全指導、安全管理の徹底 ○特別支援教育、教育相談の充実 ○家庭・地域との連携
<p>【総合的な学習の時間の指導の重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の自然・文化・人材、社会環境を活用した体験的かつ探求的な学習活動 ・課題を解決する力 ・自分の考えや思いを発信する力 ○環境教育、キャリア教育の充実 ・自己の生き方を追究していく力 	<p>【外国語活動の指導の重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Hi, friends!」「Welcome to Tokyo」の活用 ・表現力とコミュニケーション能力の育成 ・外国の文化や言語に触れる機会 ○ALT及び外国語活動指導補助員の活用 	<p>【進路指導の重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育の充実 ・自分自身の特性・長所に気付かせ自尊感情を育てる ・自己の将来に対する明るい希望や夢をもたせる ・意欲的に自己実現を図ろうとする ・小・中連携教育の取組の実施 	

「児童の学力向上を図るための調査」に関する分析結果より

- 算数・国語ともに基礎的・基本的な問題を処理する力が向上している。東京ベーシックドリルの活用などを効果的に活用してきた結果とも言える。
- 結論や根拠を記述して表現したり、応用したりする力（問題を解決する力表現する力）は、十分に身に付いているとは言えない。
- 5年は国語、社会、理科の読み解く力は都より上回っている。算数は都より低い結果となり、力を入れていきたい。

授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫 教育環境の整備	校内における研究や 研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との 連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○どの子も伸びる九小スタンダードの定着（視覚化、明確化、見直し） ○基礎基本の徹底 ○問題解決的な学習の重視 ○考えを交流する活動 ○習熟度別学習（算数） ・個に応じた指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○時程の工夫による授業時数の確保 ・学習補充（1, 2年） ○朝学習、読書の時間の設定と東京ベーシック・ドリルの活用 ○読書旬間の設定 ○夏の学習日の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究の充実 ・算数科を中心に、考える楽しさを味わわせ思考力を高める。 ○ミニ研修会の充実 ○他校の研究発表、研究授業に学ぶ体制づくり ○授業ウォッチ期間の設置（他の教員の授業から学ぶ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導計画・評価規準・評価計画の活用 ○児童、保護者、地域アンケートによる授業評価 ○日常的な計画(P)、実践(D)、評価(C)、改善(A)のサイクルの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学期（1～2回）の学校公開、保護者参加型授業の実施 ○地域、保護者学校支援ボランティアとの連携 ○地域の教育的資源や教育力を活用した活動 ○学校経営方針に基づく学校説明会、教育実践報告会の実施

授業改善推進プランの活用

- 自己申告書（学習指導）に、授業改善推進プランとの関連を示し、授業づくりに関する振り返りができるようにする。
- 校内研究における授業づくりで、授業改善推進プランに示した内容との関連を明確にして、プランの具現化を図る。
- 研修においても、授業改善推進プランに示された内容を踏まえ、プランを実行するための一助にする。
- 教育の今日的な課題や、教科等の実践上の課題についての情報提供の場として活用する。

